

日本作業療法士協会が開発したMTDLPが臨床応用され約5年、やっとこのような特集が組めるようになった。これまで尽力されてきた日本作業療法士協会の関係各位および真摯に取り組んでこられたOTに深く感謝する。本特集はMTDLPの開発経過、取り組みと現状の課題、他職種からのコメント等、いわば中間評価的な位置づけであるが、今後の作業療法の発展に大きく寄与する内容である。ご執筆いただいた方々には心より敬意を表する。

さて、私は今のリハの動向を危惧している。1990年代、わが国では大きな問題となっていなかったが、主に米国ではリハ無用論が吹き荒れた。ADLからQOLへの価値観の変換、IL運動の広がりによ

り、ADL中心のリハが否定されたのである。その流れの中で2001年（平成13年）にICFが発表され、患者の自己選択、自己決定、主体的な治療、活動と参

加に資する治療は、今や医療の常識であると考えている。また医療が「治す医療」から「治し支える医療」へと、さらに「入院医療中心から在宅医療」へと変革する中で、はたして回復期リハの作業療法はそれに基づいて実践されているだろうか。アウトカムにFIMが導入され、結果として「いつか通った道」を走っているのではないか。ADLの自立が重要なことはいくまでもないが、それで終わっていないだろうか。今一度立ち止まって考える時期にあるように思う。

本特集からわかるように、MTDLPは医療の中にICFを基盤としたリハを実現させる貴重なツールである。一人でも多くのOTがMTDLPを活用した臨床を実践し、国民の健康と幸福に真に寄与することを祈念している。（中村春基）

編集後記

編集顧問

上田 敏 鈴木 明子 寺山久美子

編集委員

江藤 文夫 香山 明美 澤 俊二 竹内さをり
長野 敏宏 中村 春基 西出 康晴 山本 伸一

編集同人

朝田 隆	蟻塚 亮二	石川 隆志	伊藤 利之
伊藤 真美	岩井 和子	岩井 邦寿	宇田 薫
沖田 啓子	片岡 靖子	辛島千恵子	菊山 和生
川本愛一郎	来島 修志	岸本 光夫	窪田 静
相良 二郎	柴田八衣子	島崎 寛将	高島 千敬
鶴見 隆彦	中川 昭夫	仲木 右京	芳賀 信彦
浜村 明德	林 克樹	東 祐二	備酒 伸彦
深浦 順一	二神 雅一	松元 義彦	宮田 昌司
村井 千賀	村上 重紀	柳 尚夫	山口 昇
山根 寛	吉川ひろみ	米崎 二郎	渡辺 誠

（五十音順）

作業療法ジャーナル VOL.53 NO.4 (Apr.)

2019年4月15日発行（毎月1回15日発行）

定価（本体1,800円＋税）

年ごめ予約購読料 25,400円＋税（送料弊社負担、増刊号含む）

発行 株式会社 三輪書店

代表者 青山 智

〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷網ビル

代表 ☎ 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

郵便振替 00180-0-255208

（担当：高野、森山）

Email otj@miwapubl.com

印刷所 三報社印刷㈱ ☎ 03-3637-0005

広告申込所 ㈱医薬広告社 ☎ 03-3814-1971

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, © 2019, Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。